

第67号

Super Highway

JR東労組バス関東本部

発行日
2017. 4. 11

スーパーハイウェイ

発行責任者：遠山真一郎
編集責任者：荒井雄太
東京都渋谷区代々木2-2-6
JR新宿ビル13F
Tel.03-3375-5045 (NTT)

自分だったらどうする？何をすべきなのか？

現地に立って災害時の行動を具体的に考える

バス八日市場分会 現地踏査行動

4月5日（水）バス八日市場分会で「第2回 防災の集い」が開催されました。集会前段に「匝瑳市循環バス 野田・栄ルート」の現地踏査を行いました。このルートは九十九里沿岸を進み、津波浸水が想定される区間が含まれています。

八日市場分会では、防災士の資格を取得した仲間を中心に、踏査に向けて事前調査を行い、踏査資料を作成しました。匝瑳市役所にも協力を要請し、当日は市の担当者が現地に出向いて説明してくださいました。そして実際に津波避難タワーを使っての津波避難のイメージを体験しました。

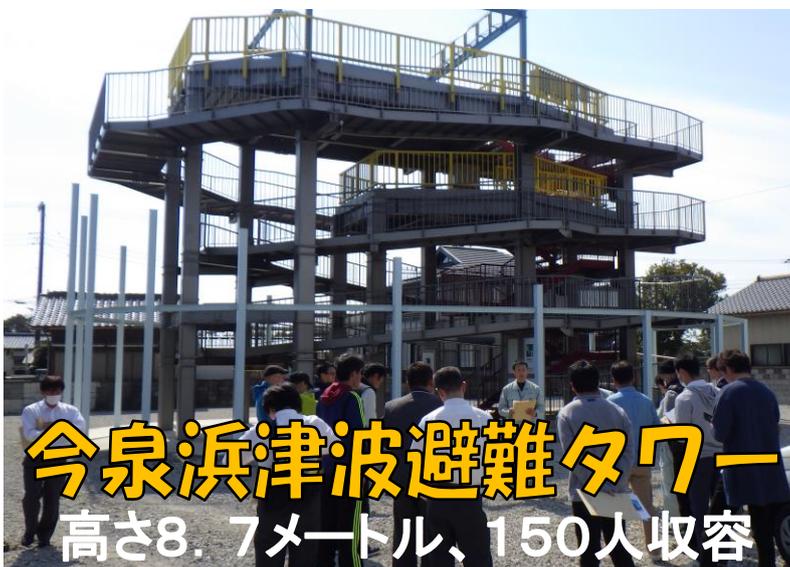


移動中に学習

伊東防災士



踏査ポイント
今泉浜バス停



今泉浜津波避難タワー
高さ8.7メートル、150人収容

海が近い！



避難タワーは緊急用！
沿線の特徴と避難場所を把握しましょう！

津波避難タワーを登ると眼下には九十九里海岸が広がります。参加者は「こんなに海が近かったのか」「どこまでも平坦で高い所がない」など乗務区間の特徴を実感しました。市の担当者から説明を受け、避難場所の把握や避難方法について学習しました。組合員からは「利用者の特徴を把握してイメージを立てよう」「自分だったらどうする。普段から考えることが大切だ」等と意見が出されました。